

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.13 2011年7月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ソニービジネスソリューション、HD ビデオ会議システム新たに2機種発表、マイク一体型カメラ新開発

ソニービジネスソリューション株式会社(東京都港区)は、新たにHDビデオ会議システム製品2モデルを7月1日より販売開始した。

ソニーは、従来HDビデオ製品においては、2008年11月以降「PCS-XG80」や「PCS-XG55」、「PCS-XL55」を順次発売してきた。今回の新たに「PCS-XA80」と「PCS-XA55」が加わることで、ソニーのHDビデオ会議システムのラインナップは、5モデルに拡大することになる。なお、SD機である「PCS-G70S」と「PCS-G50」も加えると7モデルになる。



PCS-XA80(ソニー資料)



PCS-XA55(ソニー資料)

今回発表されたXAシリーズは、XGシリーズが持つ基本性能と機能そしてユーザーインターフェイスや操作環境などをそのまま踏襲しながら、今回、新たに開発したマイク一体型カメラを採用することで小規模会議室に最適で、かつ、HDビデオ会議システムとしては価格が50万円切る製品(PCS-XA55)となっている。



RF リモコン(ソニー 資料)

XGシリーズと同様に、HD(720p)やステレオ音声(MPEG-4 AAC 48kHz、音声帯域 22kHz)に対応するとともに、「データソリューション(H.239)」、半透過型メニュー、「ビデオアノテーション」、RFリモコン、「インテリジェント QoS」、「キオスクモード」、暗号化、メモリーステックレコーディング、Web遠隔コントロール、PPPoE、ログ入れ、デュアルネットワーク(PCS-XA80のみ)などにも対応している。また映像と音声の入出力には、HDMIインターフェイスにも対応する。



マイク一体型カメラ(ソニー 資料)

さて、今回の新製品PCS-XA80とPCS-XA55の大きな特長は、ソニーとして、マイクとカメラを内蔵したマイク一体型カメラを新たに開発し、そのカメラを新製品で採用した点。

マイク一体型カメラは、重さ約800g。大きさは、約115 x 49.2 x 29.3mm(突起部とアーム部含まず)。厚さが11cmま

でのさまざまな標準的なモニターに設置可能。吸盤とロック機能がついているため、設置時にはしっかり固定できる。その上、折りたたみのアームの伸ばすとテーブルにも立てることができる。PCS-XA 本体から 3m 範囲の配線が可能。延長も可能という。

カメラ部については、800 万画素に対応した CMOS センサーを搭載。左右上下 20 度、3 倍電子ズームに対応。自動パンチルトズームには対応していないが、80.1 度の広角レンズであるため、7~8 人の会議室であれば画面からはみ出ることなく映し出すことは可能だ。



マイク一体カメラ装着例（ソニー資料）

一方、マイク部の集音範囲については、スペック上最適

範囲が 0.5~1m、そして許容範囲が 1~1.2m となっているが、物理的な大きさが 7~8 人の小振りの会議室であれば十分音を拾える性能を持っている。

なお、カメラ、マイクオプションとして、HD カメラやマイク（無指向性、単一指向性、エコーキャンセリング）も提供している。オプションは、XG シリーズと共通となっている。

次に、もうひとつの大きな特長は、H.264 ハイプロファイルを採用している点。「H.264 ハイプロファイルは、他社ビデオ会議メーカー製品でも採用されている比較的新しい映像符号化方式だが、ネットワーク上のビデオ会議のデータを、従来よりも 1/2 で送受信できる点に特長がある。」（ソニービジネスソリューション）

H.264 ハイプロファイルは、PCS ソフトウェアバージョン 2.3.1 で提供される。このソフトウェアは、XG や XL シリーズとも共通となっている。従って、XG や XL もソフトウェアバージョン 2.3.1 をそれぞれ設定すればお互いに H.264 ハイプロファイルでのビデオ会議通信が可能だ。

補足情報として、バージョン 2.3.1 で、PCS-XG80 は 1080p に対応する。以前のバージョンでは、1080i のみ対応していた。

多地点機能については、PCS-XA80（最大帯域：10,240kbps）が対応している。その場合は、多地点接続用ソフトウェア（IP/ISDN）をオプションとして購入することで多地点機能を使える。PCS-XA55（最大帯域：4,096bps）は、ポイントツーポイントのみ。

PCS-XA80 を親機として使えば、その親機を含め 6 端末での多地点会議が可能だ。加えて、XA をもう一台親機（都合 2 台）として組み合わせれば、双方に複数の子機がそれぞれ接続し合計で 10 台の多地点会議が行える。その際には、IP と ISDN 混在（異速度通信も含め）が可能。

「ビデオアノテーション」には、ワコム社製ペンタブレット「Bamboo CTH-460/K0」に対応していたが、それに加え、今回新たに、液晶ペンタブレット「DTU-1631C」にも対応。DTU-1631C の画面に、ビデオ会議の画面と同じ画面が表示されるため書き込みしやすくなった。

製品本体の寸法・重さ：XA シリーズの本体は、約 282 x 56 x 244mm（突起部含まず）。重さは、PCS-XA80 が約 2.2kg、PCS-XA55 が約 2.0kg。

販売価格については、PCS-XA80 は、800,000 円（税別）、また PCS-XA55 は、498,000 円（税別）となっている。1年保守付き。

「PCS-XA80 と PCS-XA55 は、機能と価格のバランスが取れている製品になっていると自負している。また、適材適所で XG 製品あるいは XA 製品を組み合わせ、従来よりもさらにコストパフォーマンスの高いビデオ会議導入が可能になった。」（ソニービジネスソリューション）

NJC ネットコミュニケーションズ、企業向けクラウド型 eラーニングサービスを開始

NJC ネットコミュニケーションズ株式会社（東京都渋谷区）は、企業向け eラーニングサービス「recipe.learning（リサイプ ラーニング）」の提供を開始した。（6 月 13 日）

recipe.learning は、Web ブラウザ上で動作するクラウド型の e ラーニングサービス。クラウド型のため、ユーザがサーバを準備したり、メンテナンスを行ったりする必要はない。サービスは、Windows、Mac、iPhone、iPad とパソコンからスマートフォンまで対応する。また、オリジナル教材を作成できるツールや各種教材も用意している。

サービスで提供する機能としては、以下がある。(1)受講者機能:受講者画面における、受講登録申請、講座・教材の一覧表示、受講履歴の表示、受講履歴の表示など。(2)受講者管理機能:各受講者の進捗状況や受講履歴を把握することができる。また、グループ設定、講座割当にも対応。その他、ロゴマークの変更、お知らせ、メールテンプレート作成などの機能もある。

一方、教材作成ツールは、PowerPoint からアニメーション効果やナレーション音声も自動生成が可能。教材については、e ラーニング標準規格 SCORM1.2 に準拠している。

recipe.learning は、3 ヶ月、10 人からの導入を低価格で気軽にスタートできるが、導入を検討のユーザへ 2 週間無料でお試し提供をしている。また利用後解約しても、1 年間は利用環境を保持するため、その間の再契約であれば、初期費用はかからないようになっている。

サービス利用料金:初期費用は、100,000 円(税別、以下同)。基本料金(月額)は、10,000 円、ユーザライセンス(月額)は、150 円から 200 円。

NJC ネットコミュニケーションズは、Web 会議やグループウェア、SFA などのクラウドサービス全般、ネットワーク回線、データセンターを主力事業としている。

ルーシッドの無料電話会議サービス、サービス提供地域に中近東と南アフリカを追加

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、同社の無料電話会議サービス「BizSpeak」に、イスラエル、南アフリカの 2 カ国をサービス提供地域としてオプション提供を開始する。(6 月 15 日)

今回のオプション提供を使用することで、イスラエルや南

アフリカからのアクセス番号が提供されることになる。これらの拠点に取引先をもつ日本企業や日本に支店を持つ外資企業が、1,575 円で 30 日間、何度でもこれらの国から日本との電話会議にアクセスして国内通話料のみで利用することができることになる。

日本国内とアメリカからは、基本料と会議利用料ともに無料で利用できるため、イスラエル、アメリカ、日本の 3 カ国間会議や、イスラエル、南アフリカ、アメリカ、日本の 4 カ国間会議を開催しても、30 日間の間であれば上記固定料金で何回でも国際電話会議が行える。

中近東・アフリカ(イスラエル、南アフリカ)の国際アクセスサービス料金は、1 会議 ID プランの場合、1,575 円/ID/30 日間。また、5 会議 ID プランの場合は、5,250 円/5ID/30 日間となっている。申込日より 30 日間利用回数時間ともに無制限。ただし、サービス料金は前払いで、BizSpeak 会議 ID を持つ主催者に課金される。

ビジネス動向-国内

プリンストンテクノロジー、Vidyo 社ビデオ会議システムの国内取扱い開始を発表

プリンストンテクノロジー株式会社(東京都千代田区)は、米 Vidyo 社と日本国内での販売代理店契約を締結した。(6 月 1 日)

今回の販売代理店契約によって、プリンストンテクノロジーでは、Vidyo 社のスマートフォン/タブレットデバイス向けビデオ会議アプリケーション「VidyoMobile」(今夏発売予定)、Vidyo ビデオ会議システムの中心となるサーバ製品「VidyoPortal」と「VidyoRouter」、そして、ポリコム製をはじめとする H.323/SIP 対応ビデオ会議システムとの接続を可能とする「VidyoGateWay」を中心に取扱いを開始する。

プリンストンテクノロジーによると、ポリコムの高画質で臨場感のあるビデオ会議システムと、スマートフォンやタブレットデバイスなどモバイル向けに強みを持つ Vidyo 社のビデオ会議システムを組み合わせたソリューションの提供を行っていくという。

プリンストンテクノロジーは、ポリコム社の7年連続国内No.1(2004年-2010年)プラチナパートナーとしての実績と経験を持つ。

ビジネス動向-海外

ポリコム社、ユニファイドコミュニケーションに関する複数の発表を実施

ポリコム社は、6月1日「Polycom UC Webcast: Innovation Driving UC Everywhere: From Mobile to the Cloud and Beyond」を開催、ユニファイドコミュニケーションに関する発表を行った。(6月1日)

発表の概要は以下の通り。

(1)HP ビジュアルコラボレーション事業を買収。ポリコムは、HPのHalo製品とマネージドサービスを含むビジュアルコラボレーション事業を買収することを発表した。両社は、戦略的協定も締結し、ポリコムがHPのテレプレゼンスと特定のUCソリューションについての独占的パートナーとなる。これには、再販とHPソリューションの社内展開が含まれる。また、ポリコムのビデオアプリケーションをHPのWebOS TouchPad製品ラインに統合する。

(2)「オープン ビジュアル コミュニケーション コンソーシアム(Open Visual Communications Consortium, OVCC)」の発表。AT&T、BT Conferencing、Global Crossing、Glowpoint、Telstra、Verizonなど大手通信事業各社を中心とするサービスプロバイダーが参加するコンソーシアム。オープンな映像ソリューションを提供するクラウドサービス提供を趣旨とし、企業のファイアーウォールや独自の映像プラットフォームを越えた、携帯電話を使用しているような簡単さでビジュアルコミュニケーションを可能にする。利用者は、数百万ユーザ規模を想定している。

ポリコムは、このクラウドの主要なコンポーネントとして「Polycom UC Intelligent Core」会議インフラストラクチャーやUCデバイスを提供する。

(3)ポリコムとマイクロソフト戦略提携や共同開発を拡大。マイクロソフトとポリコムは、共同開発とGoToMarket活動を多

角的に拡張する。これまでにポリコムは、マイクロソフトと既に6件の戦略的合意に基づいた活動を行っており、ポリコムの全ソリューションが、マイクロソフトの「Lync」とのネイティブ統合を実現している。加えて、ポリコムとマイクロソフトは、SVC技術に関する発表も行っている。

(4)株式の2分割。ポリコムは、同社取締役会が、普通株式1株を2株に分割することを承認した。この株式分割により、全登録株主が2011年6月15日の終業時点で、同日付けで所有する株式1株に対して新規株式を1株取得する権利を得る。株式分割による新規株式は、同社の名義書換代理人により2011年7月11日付けで分配される予定。株式分割の完了時点で、ポリコムの発行済み普通株式は、約176,000,000株となる予定。

AMD社がViVu社へ出資、ビデオ会議ソリューションやワイヤレスディスプレイのプロトタイプを開発中

コンピュータ用のプロセッサを開発する米AMD社は、同社のAMD Fusion 基金プログラムの一環として、デスクトップビデオ会議ソリューションを開発するViVu社に出資をしたと発表。(6月9日)

ViVuは、同社が特許としてもつMXTPを使ったHD品質のビデオコンテンツの配信技術におけるパイオニア。AMD社とViVu社は共同で、ViVuビデオ会議ソリューションやワイヤレスディスプレイのプロトタイプを開発中だ。これが実現すると、1080p HDビデオを、802.11無線規格を使用してAMD Fusion APUを採用したPCから、ネットワークディスプレイにワイヤレスで送信することが可能になる。

導入・利用動向-国内

ANA、パイロット訓練生の診察やカウンセリングに ブイキューブのWeb会議を導入

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、全日本空輸株式会社(東京都港区、以下ANA)が、ブイキューブのASP型Web会議システム「V-CUBEミーティング」を採用し

たと発表。(6月7日)

ANAは、国内線で最大の路線網を持ち、乗客数でも日本最大級の航空会社。自社養成パイロット訓練生は、多い時は、100人を越えるという。

ANAでは、米国で訓練中のパイロット訓練生の診察やカウンセリングに、V-CUBEミーティングを活用している。訓練生は、米国にて飛行訓練を平均1年半ほど受けるが、ケガや厳しい訓練によるストレスなど問題になるのは健康管理という。労働安全衛生法や航空法に準拠した健康管理、現地での米国人医師との言葉の問題、さらには、日本国内の社医との電話やメールでの問診による限界などの問題から、タイムリーな診察やカウンセリングを行うためWeb会議を導入した。

詳しい事例紹介は、ブイキューブ Web サイトにて紹介されている。

全日本空輸株式会社 <http://www.ana.co.jp/>

Web会議を活用したBCP対策術 ～問われる企業の危機管理体制～

日時:7月22日(金) 14:30~17:00(開場 14:00)

会場:OAK PLAZA 2F(東京都千代田区)

主催:エイネット株式会社

詳細:<http://www.freshvoice.net/news/2011/06/webbcp.html>

『ビデオ会議システム 円滑運用のノウハウご紹介』セミナー (東京・大阪同時開催)～複数メーカー新旧混在、異機種間接続を実現して既存システムを有効活用～

日時:7月28日(木)14:30~17:00

東京会場:パナソニック電工インフォメーションシステムズ

東京オフィスセミナールーム(東京都港区)

大阪会場:パナソニック電工インフォメーションシステムズ

セミナールーム(大阪市北区)

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

シスコシステムズ合同会社

詳細・申込(東京):

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/164>

詳細・申込(大阪):

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/162>

セミナー・展示会情報

<国内>

会議の効率化を実現!『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日程:7月20日(水)、27日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社NEC情報システムズ

詳細:<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformmeeting/seminar.html>

【無料体験セミナー】ペーパーレス研修・会議ソリューションのご紹介

日時:7月20日(水)13:30 ~ 15:30(受付13:00~)

会場:システム・テクノロジー・アイ

Ginza Learning Center(東京都中央区)

主催:株式会社システム・テクノロジー・アイ

詳細・申込:<http://www.systech-i.co.jp/www/cms/topics/news110627.html>

Web会議・Webコラボレーション SaasBoard 無料セミナー チームワークとコンプライアンス確保のテレワークを実現する 遠隔Web会議サービス SaasBoard3.1

日時:7月22日(金)13:30~17:00

会場:渋谷区商工会館

主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細:http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#seminar_b

編集後記

今回も読みいただきありがとうございました。

6月にアメリカで Infocomm 2011 開催されましたが、Youtubeに出展企業による会場の様子を映したビデオが投稿されていますので、興味がある方は、「Infocomm 2011」などと入力して検索してみてもいいでしょうか。

また、米 Wainhouse Research 社の定期ニュースレターや英 VC Insight 誌、IMCCA のサイトにもレポートが掲載されています。

Wainhouse <http://www.wainhouse.com>

VC Insight <http://www.vcinsight.com>

IMCCA <http://www.imcca.org>

今回の展示会では、Codian を立ち上げたメンバーが設立した StarLeaf 社や、スケジューリングに特化したソリューションを提供する myVRM なども新たに出展しています。

私は 2009 年以来行っていませんので、来年の Infocomm 2012 には是非行ければと思っています。

それでは次回もよろしくお願い致します。

橋本啓介